



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：経済状況

(4月22日付イラン報道)

1. EU理事会によるイラン産原油禁輸制裁への影響調査 (22日付イラン・デイリー紙)

EU理事会は、5月1日に行われる予定であったイラン産原油禁輸制裁への影響調査について、ギリシャが代替先を探すことに難色を示していることから、1カ月延期することにした。

2. アジア向け原油輸出の継続 (22日付テヘラン・タイムズ紙)

イラン国営石油会社 (NIOC ; National Iranian Oil Company ; Sherkat-e Melli-ye Naft-e Iran) のモフセン・ガムサリー (Seyyed Mohsen Ghamsari ; the Director of International Affairs of NIOC) は、マレーシア向けの原油輸出が停止したとの噂を否定した。全てのアジア・アフリカ地域の製油所はイラン原油の輸入量を減少させるが、同国の他の製油所は、輸入量を増大させる新たな契約に署名したと発言した。

3. イランの石油生産量 (22日付テヘラン・タイムズ紙)

JODI (Joint Organization Data Initiative) の公式データによると、2月のイランの石油生産量は日量375万バレル、輸出量は日量234万バレルを記録した。

4. コスモ石油による契約更新 (22日付テヘラン・タイムズ紙)

コスモ石油がイランとのターム契約を更新したと取引筋が述べた。今回合意した取引量は明らかにされていないが、契約の中には制裁に関するフォース・マジュール (不可抗力) 条項が含まれていると、取引筋が述べている。

5. パキスタンとのバーター取引 (22日付テヘラン・タイムズ紙)

イランとパキスタンは22日より、テヘランにてバーター取引に関する会談を開催する。パキスタン側が100万トンの小麦を輸出する一方、イラン側は肥料と鉄鉱石を提供する予定である。

6. 物価に関する大統領の発言 (22日付テヘラン・タイムズ紙)

アフマディーネジャード大統領は、全国の知事との会議の席で、物資の価格、とりわけ食料価格は統制されなければならないと、不当に釣り上げられた価格に関して調査するよう知事に求めた。テヘラン州のタマドン知事によると、13の牛乳農家が牛乳販売価格を不当に値上げし、1,500億リヤル (130万ドル) の利益を得たとしている。

7. 基礎物資の備蓄 (22日付イラン・ニューズ紙)

商業・工業鉱山省は、政府から10の基礎物資 [米、食用油、砂糖、赤肉 (特にマトンや牛)、白肉 (主に鶏肉)、とうもろこし、小麦、大麦など] の備蓄を命じられた。